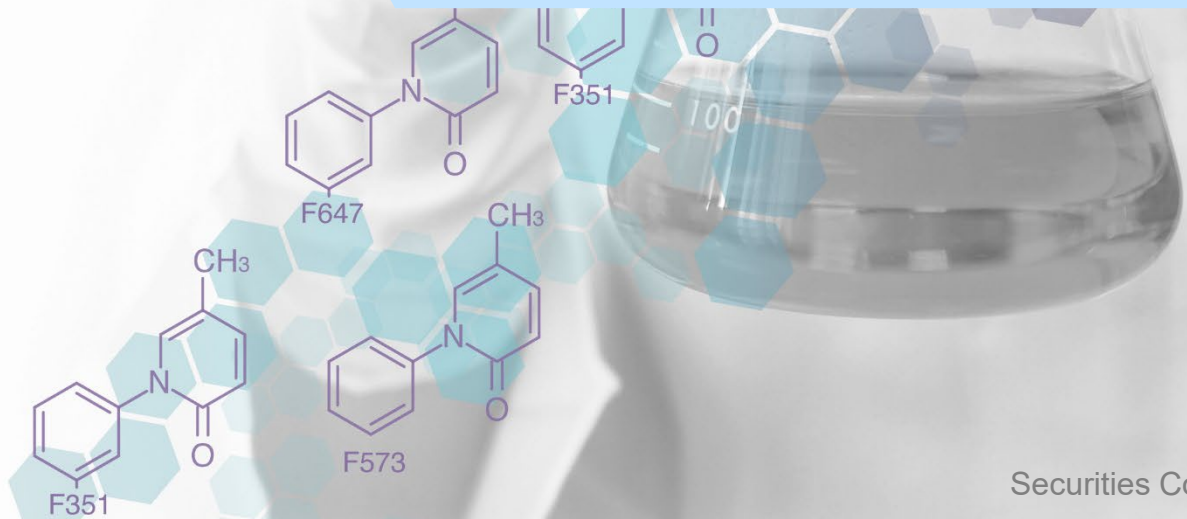




株式会社ジーエヌアイグループ

2020年12月期 第2四半期連結決算概要 2020年8月18日

患者の皆様に新たな希望をお届けします



将来の予想・見通し等についての免責事項

- ◆ 本資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。
- ◆ 将来の業績に関する見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しに依拠して投資判断を決定することはお控え下さいますよう、お願いいたします。
- ◆ 実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、世界情勢などが含まれます。
- ◆ 本資料と2020年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）の内容に相違があった場合、短信の内容が優先されます。

当第2四半期連結累計期間のハイライト

増収・増益を達成

新型コロナウイルス感染拡大による影響を最小限にすることに留意しながら、事業計画の遂行を行い、対前年同期比で増収・増益を達成

医薬品事業

アイスーリュイの売上高が、前年同期比30.0%増と引き続き堅調に推移

医療機器事業

米国における医療機器事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による外科手術の保留に伴い、主要顧客先においてインパクトが発生。その結果、医療機器事業における売上収益は対前年同期比10.9%減、セグメント利益は33.1%減

ヘルスケアビジネス（医薬品事業）

中国におけるヘルスケアビジネス（非コア）はコロナウイルス関連製品の売上増により継続的に力強い成長を示す

引き続き中国における事業が強い傾向にあることから、「2020年12月期の連結業績予想」の修正はなし

2020年12月期 第2四半期連結決算比較(前年同期比)

(百万円：百万円未満切捨)

損益計算書	FY2019 1-6月	FY2020 1-6月	対前年同期 増減率
売上収益	3,419	4,380	28.1%
売上総利益	3,025	3,639	20.3%
販売費及び一般管理費	△2,045	△2,212	8.2%
研究開発費	△304	△582	91.4%
営業利益	681	861	26.5%
金融収益	31	24	△21.4%
金融費用	△108	△68	△37.1%
税引前四半期利益	603	817	35.4%
法人所得税費用	△102	△291	183.1%
四半期利益	501	526	5.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	178	244	36.9%

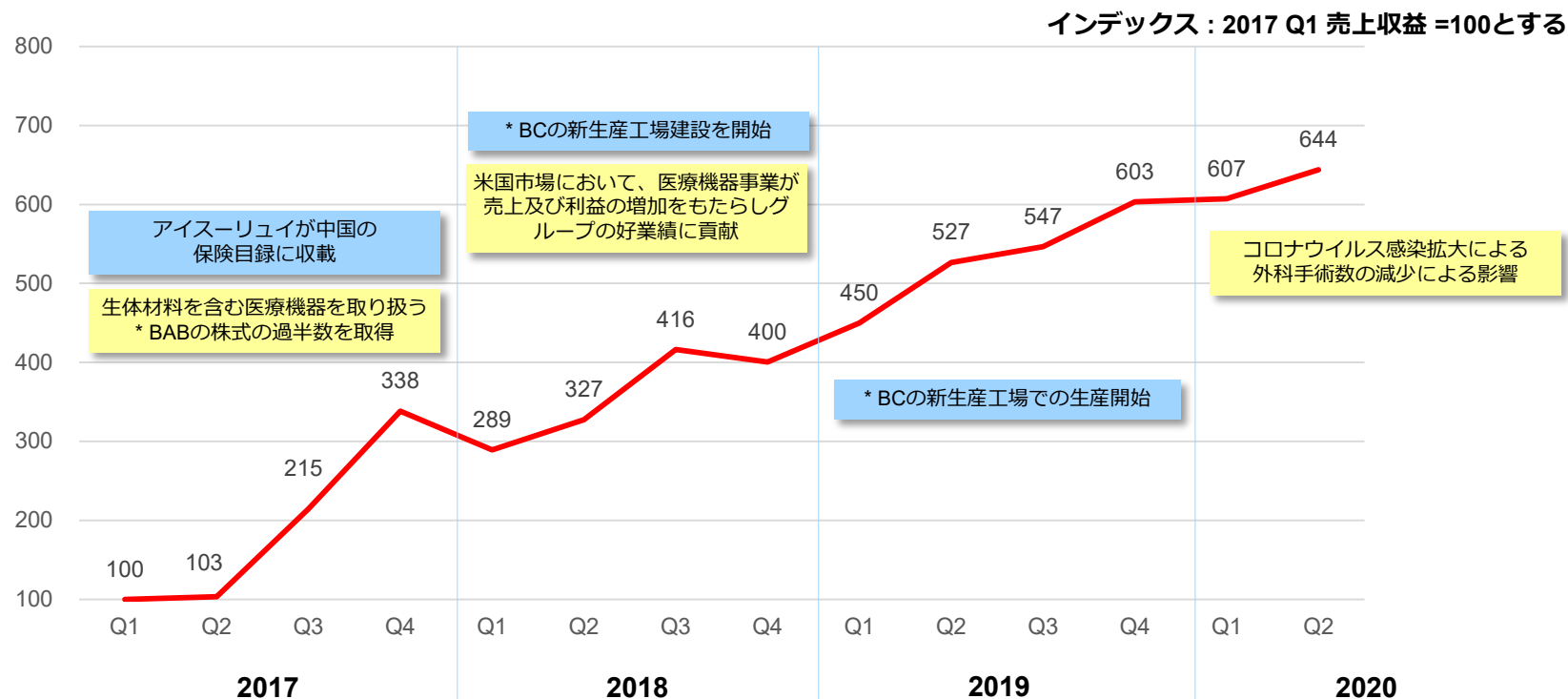
- **売上収益・売上総利益**：医薬品事業が引き続き好調。
- **販管費及び一般管理費**：前年同期比で若干の増加に抑制。中国におけるコロナウイルス感染拡大の中、マーケティング費用の減少と、医薬品事業の販売コスト低減による費用抑制
- **研究開発費**：アイスーリュイの追加適応症と Cullgen Inc. で進行中の新規分解剤の開発によるもの
- **営業利益**：売上総利益の増加と販売・管理費比率の改善により、収益性が伸長
- **四半期利益**：米国での法人所得税の増加があり、前年同期比約5.1%の増加
- **親会社の所有者に帰属する四半期利益**：対前年同期比約36.9%の増加

財政状態計算書	2019年12月31日 現在	2020年6月30日 現在	増減率
現金及び現金同等物	7,674	8,322	8.4%

* 四捨五入で表記しております

売上収益 成長トレンド

82.42% 3年間の年平均成長率 (CAGR)



■ 売上成長の大部分は医薬品事業の成長により実現。医療機器事業は安定的売上と高収益性にて貢献。

医薬品事業: 中国
医療機器事業: 米国

BC : 北京コンチネント薬業有限公司
BAB : Berkeley Advanced Biomaterials

開発：パイプライン アップデート

品目 - 適応症	開発	第1相	第2相	第3相	アップデート
Etuary® - 中国					
- 結合組織病関連間質性肺疾患(CTD-ILD)	自社	→			第3相臨床試験中。コロナウイルス感染拡大により遅延が発生
- 放射線性肺炎(RP)	自社	→			第2相臨床試験治験者のリクルートに時間を要しているため、治験実施計画書を修正した第二試験を実施中
- 糖尿病性腎症(DN)	自社	→			第1相臨床試験が計画通り進行中
- じん肺症(PD)	自社	→			第3相臨床試験の準備中
F351 - 中国・米国					
- 肝線維症(中国)	自社	→			第2相臨床試験完了（概要は8月17日公表文参照）
- 肝線維症(米国)	自社	→			中国第2相臨床試験データの結果発表まで一時保留
F573 - 中国					
- 急性/慢性肝不全	他社	◆			第1相臨床試験計画書の策定中
タミバロテン - 中国					
- 急性前骨髄球性白血病(APL)	他社			→	東光薬品工業株式会社が追加データを2020年6月に提出し、NMPAが審査中

リサーチ：プロジェクト アウトライン

Cullgen Inc.

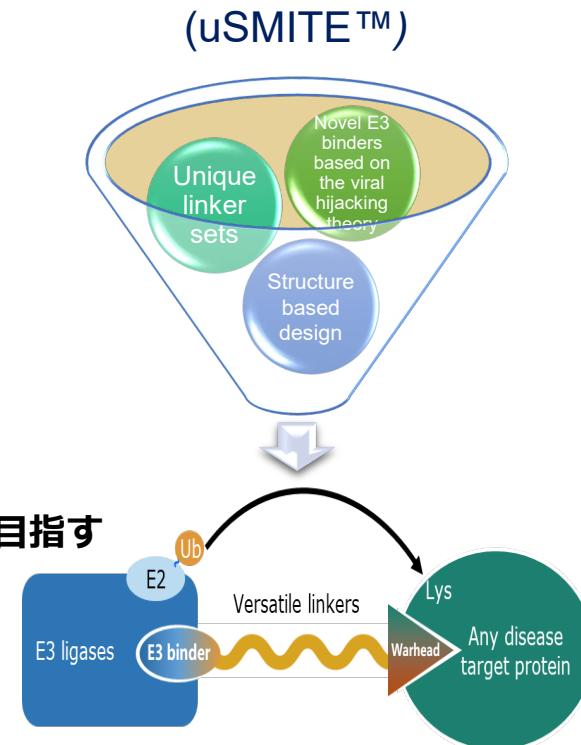
新しい創薬基盤技術であるuSMITE™（ユビキチン化を介した標的タンパク質分解誘導技術）を活用した、がん、炎症性疾患及び自己免疫疾患の新たな治療における革新的な新規化合物を見出し、医薬品として開発を行う目的で設立

5つの新しい治療プログラムが進行中

1. 肺およびその他のがん
2. 急性骨髄性白血病
3. トリプルネガティブ乳がん
4. 前立腺および血液がん
5. メラノーマおよび大腸がん



うち一つを
2021年中にIND申請を目指す



中国

1. エーザイ株式会社とのライセンス契約:
中華圏における肺動脈高血圧症（PAH）の前臨床候補薬（ER-000582865）の前臨床試験の準備中
2. 上海ジェノミクスの研究開発部門による慢性閉塞性肺疾患（COPD）研究

Contact Information

infojapan@gnipharma.com